

街の縁台をふたたび



2022年
10月5日
号外

<https://readyfor.jp/projects/dai-gakudo-reincarnation>

小さな希望

先日の巨過市場の二度目の火災で、大學堂はきりぎり焼を免れました。私たちは消火活動で汚れてしまった部屋の中を掃除し、すぐに再開できるように準備をしていました。

しかしその後、被災した隣家を切り離す際の建物の強度が問題になりました。解体が取り沙汰される中で、なんとか補強して大學堂を残せないかと、市場の人や家主さんと話し合いを重ねてきました。その結果、解体はいったん保留され、一度は小さな希望が生まれました。

自己資金が必要

そうした話し合いの中で、巨過市場が集めている募金は、瓦礫撤去が目的であり、被災した店舗の支援のためには使えないことを知らされました。補強するには自己資金

が必要となります。

補強のための準備金だけでもすぐに用意しようと、急いでクラウドファンディング（CF）の準備をはじめました。



絶たれてしまった願い

ところがさらに瓦礫撤去作業が進む中で、解体業者から強度に不安がでたので、このまま一緒に解体したいという連絡が入りました。「大學堂の建物を残したい」という私たちの願いは、ここで完全に絶たれてしまいました。

さらに先に進む

ために
宙に浮いてしまったCFをどうするか。運営会社と相談を重ねながら、次の二つの目的のために使うことにしました。

① 大學堂跡地にて「死と再生の祭」の開催
これまで、大學堂では音楽や踊り、落語や講演など、さまざまな文化イベントをおこなって

きました。公演者の数は数十人におよびます。そこで、思い出の大學堂の跡地を会場に、年末の巨過市場がさらににぎやかになるように、大學堂にゆかりのあるアーティストたちが一堂に会し、市場と大學堂のよみがえりを祈るお祭りを開催いたします。
(二〇二三年二月)

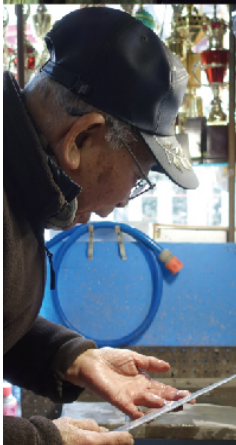
② 大學堂誕生二十五周年に向けフォトエッセイの出版
市場の人たちと交流しながら店を守ってきた歴代の店長たち、さまざまなイベントでお世話になったアーティストたち、懐かしい街の雰囲気を感じられた映画監督たち、大學堂のユニークな取り組みに興味を示した研究者たちに寄稿を依頼し、一〇〇人を越える豪華な執筆陣によるフォトエッセイを出版します。
(二〇二三年七月)



080-6458-1184 大學堂



大學堂再起動計画 クラウド 始まる。



ファンディング

巨過市場の大火災の中で、取り壊しとなってしまった大學堂。失われたものは大きすぎたけど、これからにむけて再起動します。「死と再生の祭 REINCARNATION 01」の開催 (二〇二三年二月) フォトエッセイ集「大學堂がくれた夢」の出版 (二〇二三年七月) あたたかいご支援をよろしくお願いたします。

再起動は
ココカラ↓



大學堂店長一同

<https://readyfor.jp/projects/daigakudo-reincarnation>